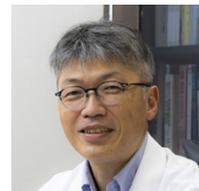


# 初期臨床研修管理委員会

委員長 兼 プログラム責任者 西 将則

副院長  
リハビリテーション科部長  
入退院支援センター センター長



## 2024年度総括と2025年度について

2024年度は5名の新人研修医を迎え、計10名の初期臨床研修医が当院で活躍してくれました。当院が地域中核病院として救急医療を含む急性期医療を展開していく上で、今までも初期臨床研修医など若い世代の頑張りがKEYとなってまいりましたが、2024年は4月から医師の働き方改革が施行され、その様相に大きな影響を与えました。

多くの病院がA水準にむけた研修体制を敷く中、当院はC1水準を選択し、研修内容の質を落とさずかつその量も担保するための多くの工夫を強いられました。特に時間外業務の管理やインターバルの確保については、事前に準備してきた我々初期臨床管理委員会と研修医の認識に大きくズレが生じました。患者さんの状態等によって日々変動する臨床業務に対し、柔軟性のある対応をしてきた医療現場においては画一的な労務管理を度外視してきた歴史もあり、現場の医師が考える初期臨床研修の常識と、法律で求められる労務管理に大きな乖離があります。一方で今までマンパワーとして依存されてきた若手の医師達の、メンタルヘルスを含む健康管理にも留意しなければいけません。もちろん個々の価値観にも大きな差があります。よって初期臨床管理委員会としては、そのバランスを図るべく、度重なる議論を行い、規約等の整備などを行ってまいりました。年度内に対応しきれなかったこともありますが、あらためて初期臨床研修の体制を見直すよききっかけになりました。また今年度は、近隣の医療情勢が変化してきたこともあり、研修連携施

設の追加も検討し、来年度からは新たに7つの医療機関にご協力いただけることになりました。

もしかすると現在当院で働く初期臨床研修医にとって、満足できる研修体制を整備できなかった部分もあったかと思いますが、研修の本分である臨床業務に費やす時間は十分に確保できたと思いますし、最終的には研修医の先生方も取り巻く状況を十分理解し研修に注力されたと思います。この研修をきっかけに未来の医療を担う立派な臨床医に成長していくことを心より願います。

最後になりましたが、院内外問わず初期臨床研修に関わる皆さん、いつも本当にありがとうございます。来年度はまた5名の初期臨床研修医が仲間になる予定です。引き続きお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(西)



## 初期研修医の業績

### ■学会発表

開催日	学会名・招聘先	演題名	役割	開催地	氏名
2024.7.17-19	第79回日本消化器外科学会総会	当院における閉鎖孔ヘルニア嵌頓症例の治療戦略	演者	下関	猪股 祐也
2024.9.14	第10回誠馨会初期臨床研修医合同研修会	心原性ショックを合併したST上昇型急性心筋梗塞に対しImpellaが有用であった一例	演者	船橋	藤井 幹
2024.12.5-7	第37回日本内視鏡外科学会総会	右心不全を呈した巨大中縦隔腫瘍の1例	演者	福岡	猪股 祐也

### 初期研修医1年目 岡田 優馬

研修医1年目を振り返ると、最初は右も左もわからず、オーダーの仕方や薬の溶かし方、聞いたことのない略語の数々など、国試で勉強した知識と実臨床で必要とされる知識の違いに戸惑いの連続でした。また、輸液の種類や必要な検査を判断する場面では、医師として決断力が求められます。他職種スタッフから質問を受けることも多く、最初はそのプレッシャーにも戸惑いました。当院では研修医も一人の医師として動くことが求められ、ある程度の裁量の大きさから医師としての責任を感じる場面も多いですが、上級医を含め周りには相談しやすく、日々周囲に支えられながら仕事をしていることを実感しています。

さらに当院は特に市中病院ということもあり、手技の経験が比較的豊富で同じ科を回る研修医が少ないため、手技の奪い合いはなかったのではないかと思います。外科系を志望している人には、お勧めだと思います。

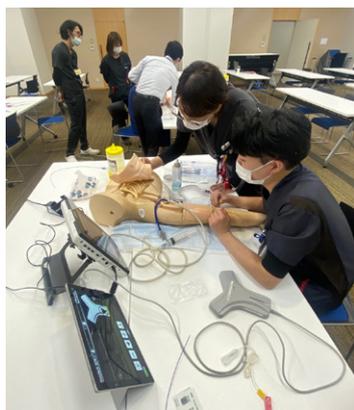
研修が進むにつれ他職種とのコミュニケーションがスムーズになり、上級医の指導を受けるなかで少しずつ成長していることを実感しています。2年目はローテーションの自由度が高いため、後期研修に向けて広く学びながらも自分に合った研修を進められることを楽しみにしています。

新東京病院での初期臨床研修は充実した学びと成長の場であり、多くのサポートを受けながら医師としての道を築ける環境が整っています。興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。

### 初期研修医2年目 南澤 宏壽

2年間の研修で感じたことは、他の研修病院と比較するとローテーションできる科自体は少ないですが、その分より専門的で楽しい研修ができる病院だと感じました。具体例としては、消化器外科では手術に参加できる症例が多く、よくある見学だけの手術参加だけでなく実際に手を動かしながら指導していただいたり、心臓内科の研修や救急外来などの研修では指導医の先生のバックアップのうえでより専門的な評価を教えていただくことも多く、自分で治療方針まで考えるなど3年目以降も自信になるような研修でした。

2年間を通じて言えることは、全診療科に進みたくするような研修だったということです。2年の研修時にまわった脳神経外科や呼吸器外科などの先生達は、このような医師になりたいと思う先生が多く、ローテーションしていない時でもたくさんの指導をしてくれました。個人の感想にはなりますが、新東京病院での研修は自分自身でやりたいことなどを言いやすい環境ですし、実際に事務や各科の先生方が指導を含めて手助けしてくれますので良き臨床医を目指せると思います。是非僕たち初期研修医の後輩となってほしいので、見学に来てください！！



PICC 研修 (医療安全)



ウェットラボ (心臓血管外科)



レクチャー (整形外科)